

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<https://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

「TRG (T細胞受容体 γ 鎖) 遺伝子再構成《PCR法》」 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、標記項目につきましては、現行試薬の販売中止により同一メーカーが販売する代替試薬に変更させていただきますので、取り急ぎご案内申し上げます。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR法》／チャート報告書の仕様も変更となります。詳細はINFORMATION：20-30をご参照ください。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

対象項目／変更内容

● [09934] TRG (T細胞受容体 γ 鎖) 遺伝子再構成《PCR法》

変更内容	新	旧
項目コード	45793	09934
検査項目名	TRG (T細胞受容体 γ 鎖) 遺伝子再構成《PCR法》	同左
検査方法	PCR・キャピラリー電気泳動法	
検体量/保存方法	EDTA加血液 3mL / 冷蔵 [容器番号：13番] または 骨髄液 1mL / 冷蔵 [容器番号：22番] または 組織 200mg (6mm角) / 凍結 (-70℃以下) [容器番号：27番]	
基準値	再構成を認めない	
所要日数	8～11日	
検査実施料/判断料	2,429点/遺伝子関連・染色体検査判断料	

※別紙報告書の報告様式が一部変更となります。(詳細は裏面をご参照ください)

変更期日

● 令和2年8月3日(月)受付日分より



TRG (T細胞受容体 γ 鎖) 遺伝子再構成《PCR法》

現行試薬の販売中止に伴い、同一メーカーが販売する代替試薬へ変更いたします。現行試薬はTRG遺伝子領域を2種類のプライマーミックスに分けて増幅を行い再構成を検出しておりましたが、新試薬ではTRG遺伝子領域を網羅できるプライマーミックス1種類で増幅を行い、再構成を検出します。

本変更に伴い、8月14日(金)ご報告分より別紙報告書も下記の通りに変更させていただきます。なお、変更後は現報告書でのご報告をいたしかねますので、予めご了承の程お願いいたします。

また、本変更とは別に8月3日(月)受付日分より、免疫関連遺伝子再構成《PCR法》/チャート報告書の仕様も変更となります。詳細はINFORMATION:20-30をご参照ください。

【新報告書見本】

株式会社LSIメディエンス		*45793-20PM-0005*	
遺伝子検査報告書			
() ()	病院名	報告日	年 2月 日
施設名	様	受付日	年 2月 日
氏名	様	保存No.	
科名	担当医	先生	検体No.
病棟	材料	採取日	年 月 日
カルテ No.	ID	性別	年齢 才 担当者
検査項目	TRG遺伝子再構成:PCR法		責任者

【検査結果】	再構成を認めない		
<table border="1"><tr><td style="text-align: center;">Vγ/Jγ</td></tr><tr><td style="text-align: center;">—</td></tr></table>		V γ /J γ	—
V γ /J γ			
—			

【判定の表記】 +:陽性 -:陰性

判定が陰性であっても明瞭なピークが認められる場合、次の記号で表します。
※:ピーク高が陽性コントロール以下である
#:ピークの出現位置が陽性出現範囲外である

この場合添付のチャートをご参照ください。

【判定基準】 検出されたピークが規定された出現範囲内であり、かつ陽性コントロールのピーク高よりも高い場合に陽性と判定いたします。

【陽性ピーク出現範囲】 V γ /J γ : 159~207bp

【方法】 DNA抽出 → PCR → キャピラリー電気泳動 → 結果判定

【参考文献】 Leukemia 2003,17:2257-2317
JMD 2010,12(2):226-238

お問い合わせ先 株式会社LSIメディエンス 遺伝子解析部 遺伝子検査グループ
〒174-8555 東京都板橋区志村3-30-1 TEL: 03(5994)2496 FAX: 03(5994)2973

1/3

(変更箇所)

新試薬では、TRG遺伝子を網羅できるプライマーミックス1種類で増幅を行うため、1種類の結果のみのご報告となります。

※実際の報告書はA4サイズです。